羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies 主催

世界遺産登録記念シンポジウム

世界遺産 百舌鳥・古市古墳群に学ぶ
―地域文化の再発見―

2019年12月7日（土） 14:00～17:00
（開場 13:15）

参加費 無料

定員 800名（申込順）

会場 羽衣学園講堂
※アクセス裏面参照

申込期間
10月1日（火）～11月30日（土）必着

履中天皇陵古墳（堺市提供）

申込方法

往復はがきでの申込

往信の文面に下記１～４を明記
１．世界遺産シンポジウム参加希望
２．氏名（ふりがな）
３．参加希望者数（はがき送付者を含め４名まで）
４．電話番号
返信の宛名面に住所・氏名等を明記し、下記申込先へ送付

Webフォームでの申込

羽衣国際大学ホームページ
https://www.hagoromo.ac.jp/course/other
からお申込ください。
QRコードからもアクセス可能（ただし10/1から）

お問合せ・申込先

羽衣国際大学　地域連携係
〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町 1-89-1
TEL. 072-265-7145　メール shakoza@hagoromo.ac.jp

シンポジウム

世界遺産 百舌鳥・古市古墳群に学ぶ
―地域文化の再発見―

主催　羽衣国際大学
共催　羽衣国際大学 現代社会学会
後援　堺市

2019年7月6日、第43回世界遺産委員会において百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されました。これを記念し、巨大古墳を含む49基の古墳群が大阪の地に造られた歴史的背景と意味、世界遺産登録により全国及び海外からの訪問客を迎える観光資源としての展望、古墳を取り囲むまちづくりの方向性など、堺にキャンパスを置く大学として多角的な視点で世界遺産 百舌鳥・古市古墳群をとらえるシンポジウムを開催いたします。4世紀から受け継がれる文化遺産について現代の人々が知識を深め、また、地域がどのように世界遺産を育むかについて専門家と市民とが共に考える場となることを望んでいます。

さらに、本シンポジウムは、国際連合が推奨するSDGs（持続可能性のある社会実現のための国際目標）の目標11.4「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する」推進事業として展開いたします。

▶第Ⅰ部（14:00～15:45）講演

「巨大古墳群は、なぜ築かれたのか」
大阪国際大学教授 **笠井 敏光**

「世界遺産の実力を示す 消えた重要な古墳たち」
羽衣国際大学非常勤講師・元読売新聞編集委員 **坪井 恒彦**

「百舌鳥・古市古墳群 世界遺産登録へのあゆみ」
堺市世界文化遺産推進室主幹 **十河 良和**

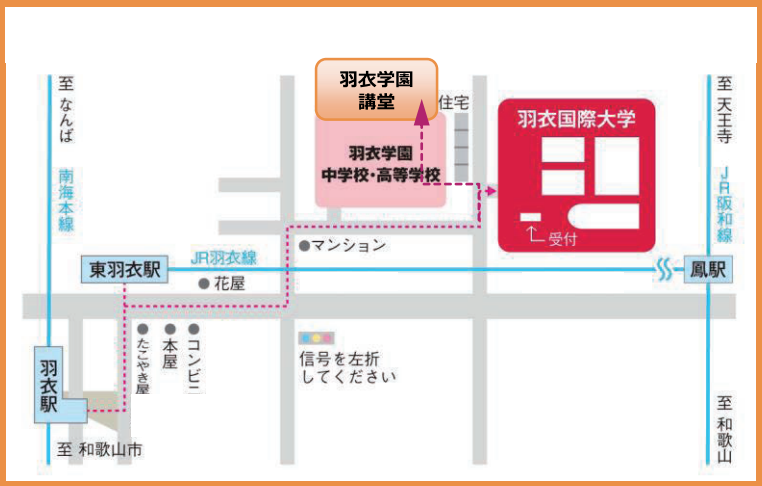
「古墳のまちを未来の子どもたちに伝えるために：
創造型観光の観点から」
羽衣国際大学准教授 **中島 智**

▶第Ⅱ部（16:05～17:00）シンポジウム

笠井 敏光・ 坪井 恒彦・ 十河 良和・ 中島 智の４名が百舌鳥・古市古墳群をめぐる歴史、研究、マスコミ、地域文化としてのあり方などについて討議

会場へのアクセス

羽衣学園講堂
大阪府堺市西区浜寺南町 1-89-1

南海本線「羽衣駅（東口）」または JR阪和線「東羽衣駅」から 徒歩７分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。身体的配慮を必要とされる方はお問合せ・申込先（表面）にご連絡ください。